

各 位

上場会社名 山下医科器械株式会社
代表者 代表取締役社長 山下 尚登
(コード番号 3022)
問合せ先責任者 取締役執行役員管理本部長 伊藤 秀憲
(TEL 092-726-8200)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年7月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,075	178	239	103	40.65
今回修正予想(B)	44,085	429	509	197	77.25
増減額(B-A)	2,010	250	269	93	
増減率(%)	4.8	140.6	112.8	90.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年5月期)	40,115	159	243	△236	—

平成24年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,735	213	91	35.68
今回修正予想(B)	43,837	500	190	74.58
増減額(B-A)	2,101	287	99	
増減率(%)	5.0	134.6	109.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年5月期)	39,911	205	△277	—

修正の理由

平成24年5月期連結業績予想

連結につきましては、下記の個別業績予想修正が大きく影響するため、修正しております。

平成24年5月期個別業績予想

現下の医療業界を取り巻く経営環境は、本年4月の診療報酬改定が前回に続きプラス改定となったものの、地域医療機関は医師不足の問題等依然として厳しい経営環境にあり、当社グループが属する医療機器販売業界における競争環境も、一層激しさを増しております。

そのような中、当社では基盤事業強化に向けて、本年度より営業本部と物流管理及び商品戦略部門を佐賀県鳥栖市のTMSセンターに集約し、顧客とのリレーション強化推進や商品物流の効率化及び仕入先メーカーと連携した商品戦略の強化等に取組んでまいりました。またSPD(物品管理)センターを中心として、取引先に対して医療材料等の在庫管理の効率化やコスト削減提案を積極的に行い、SPD契約施設の増加によるセンター稼働率の向上をはかっております。

当期の売上高におきましては、上記取組みの効果による一般消耗品分野の売上増加と合わせ、主として急性期基幹病院における設備投資案件や機器更新案件を予想以上に受注獲得したことによる一般機器分野や低侵襲治療分野における売上増加により、期初予想を上回る見込みとなりました。

また利益面におきましては、売上増加による売上総利益の増加に加え、設備管理費や支払手数料等経費削減により、営業利益及び経常利益において期初予想を上回る見込みとなりました。

なお、福岡支社の土地におきまして、直近時点の時価が下落していることから、本年度におきまして土地・建物の簿価額と同鑑定評価額の差額約30百万円を減損処理し、特別損失に計上する見込みであります。当期純利益につきましても期初計画を上回る見込みとなっております。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年7月11日発表)	—	0.00	—	12.00	12.00
今回修正予想	—	—	—	22.00	22.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年5月期)	—	0.00	—	10.00	10.00

修正の理由

従来より当社では、安定的な配当の継続を基本方針とし、配当水準として連結配当性向30%を基準としております。
当期業績予想の上方修正を踏まえ、期末の配当予想を期初に公表しております1株当たり12円から、同22円に修正させていただきます。

以 上